

あすの 健康

No.125

目次

- からだの話
「学校心臓検診」……1～3
- 身近な寄生虫……4
- コラム 折りおり……4
- ひょうご・小さな旅……5
- おしらせ……5～6
- 風土と文化……7



ミモザ

深谷 隆 先生に聞く

深谷 隆 先生
 兵庫県予防医学協会 会長



安全に学校生活を送るために、毎年新1年生を対象に実施される、学校心臓検診について深谷先生に伺います。

からだの話

— 学校心臓検診 —

学校生活のQOLを高めるために

— 四月に入り新学年が始まると、新一年生は学校で心臓検診を受けるのですが。

心臓検診は学校保健安全法に基づいて、小・中・高等学校の一年生を対象に実施されます。心臓疾患を持つ児童・生徒に適切な治療を受けさせる。さらに、日常生活の適切な指導を行って、子どものQOL(生活の質)を高め、生涯を通じて健康の視点から最大限の人生を送ることができるよう援助することがこの検診の目的です。

子どものQOLを高めるには、早期に医療を必要とする子どもを発見して治療を受けさせ、疾病の悪化を防ぐこと、さらに突然死を防止するだけでなく、必要のない運動制限や無用な生活制限を解除することも重要です。そのためには検診で病気を正確に診断し、個々の状態に応じた正しい指導区分を定めることが必要となります。

— 正しい指導区分とは何ですか。

疾患のある子どもたちが、安心して学校生活を送れるように、幼稚園、小学校、中学・高校用と、それぞれ「学校生活管理指導表」というものがあります。指導表には、各年代の学校生活での運動領域や文化的活動、学校行事、その他の活動の内容が、運動強度別(軽い・中等度・強い)に細かく分類されています。それらの分類に沿って、医師が検診結果から学校生活において管理が必要かどうか、さらに必要な場合はA〜Eまで5段階に区分します(表1)。

— どんな検査をするのですか。

学校心臓検診は一次検診から三次検診まであり、流れ(図1)は基本的に全国共通です。

まず、全員に一次検診を行います。検査項目は、入学時の保健調査票(保護者が記入)、校医の内科

健診、心電図検査が基本です。実

施方法は各自治体によつて異なる、心電図

検査は最も一般的に用

いられる標準12誘導心

電図検査(12種類の

波形を表す)や、心音図と同時に記録でき

る省略4誘導心電図検査(限定した4種類の

波形を表す)などさまざまな方式で行われています。

一次検診で見られるものには、主に心雑音や川崎病を含む心疾患

の既往と心電図異常があります。2020年度に一次検診を受けた神戸市立の小中高生約2万5千人のうち心雑音1.1%、不整脈1.6%の割合で有所見となりました。有所

指導区分		
要管理	A	在宅医療・入院が必要
	B	登校はできるが運動は不可
	C	軽い(ほとんど息がはずまない程度)運動は可
	D	中等度(少し息ははずむが息苦しくない程度)の運動まで可
	E	強い運動も可、運動クラブの活動について可か禁の判定あり
管理不要		運動制限なし

表1 学校生活管理指導表指導区分(心臓病用)

見者には二次検診受診の指示が出ます。

二次検診では原則として専門医による診察と標準12誘導心電図検査、胸部X線検査を行います。さらに必要な検査があれば追加します。

心雑音や心電図異常を指摘された児童・生徒の一部には、心臓の器質的異常がないかどうかを心臓超音波（エコー）検査で確かめます（図2）。心雑音を指摘されても心臓に異常のない無害性心雑音であることが多いのですが、心房間に穴が空いている心房中隔欠損症や、大動脈弁がきつちり閉まらないう大動脈弁閉鎖不全などの先天性心疾患が見つかることがあります。また、まれに心筋症などの後天性心疾患が見つかることもあります。

一方、心電図異常の中でも不整脈では、心臓が本来のリズムよりも早く収縮する期外収縮、心房と心室の間の刺激伝導が異常をきたすWPW症候群、心電図上で心室が収縮を始めるQ波の始まりから弛緩した時のT波の終わりまでの時間が異常に長くなった状態のQ

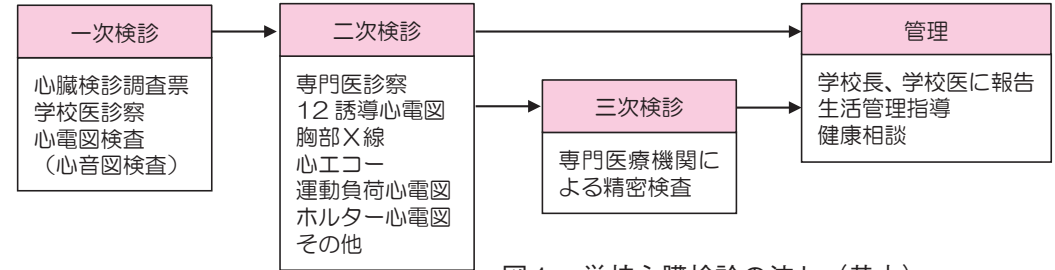


図1 学校心臓検診の流れ（基本）

Ｔ延長などが多く見つかります。不整脈がある場合、突然死を引き起こす可能性もあるので、治療が必要なものをどうかを調べるために、運動負荷心電図検査（歩いたり走ったりしたりしながら心電図と血圧を同時に測定する）やホルター心電図検査（心電図を長時間継続して記録する）などで調べます。状態によっては心臓エコー検査などを追加することもあります。

二次検査

診の結果に基づき、先ほどお話しした、学校生活管理指導表を作成します。そこで指導区分が要管理になった児童・生徒には、小児心臓病専門の医師がいる医療機関を紹介することがあります。これが三次検診です。専門医療機関では、より詳しい検査と診察を行い、治療や経過観察の必要性、日常生活での注意点などその後の方針を決めていきます。

まず入学時の保健調査票は正確に記入してください。内容によって二次検診以降の方針が変わることがあります。

次に一次検診で有所見となり、二次検診を受けるように言われたら必ず受診することです。特に、至急や緊急で専門医療機関への受診の指示があったら、すぐに受診をしてください。

先生は長く学校心臓検診に携わっておられるようですが、

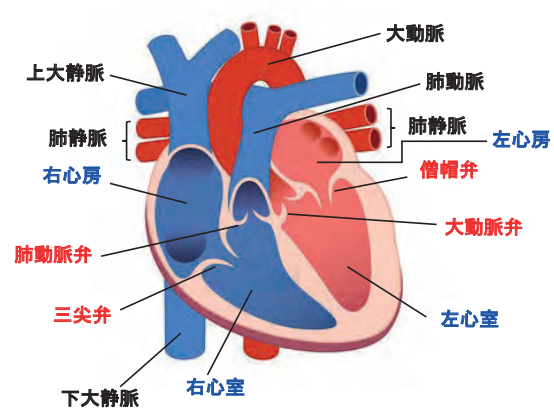


図2 心臓の構造

学校心臓検診は、学校保健法施行規則の改正により昭和48年から義務化されました。ちょうど私が医師になった年です。

それまで神戸市では、小学1、4年生と中学1年生に保健調査によるアンケートと校医の診察のみを行っていました。しかし、義務化にあわせて、当時の神戸市立中央市民病院循環器センターに学童心臓検診班が組織され、私の恩師である馬場國藏先生が中心となって、神戸市の小学1年生を対象に、心臓専門医が各学校に向いて全員を聴診し、省略4誘導心電図・心音図による検診を開始しました。

これは後に「神戸方式」と呼ばれた画期的な検診システムで、学校に週休2日制が導入される平成3年まで行われていました。この間に蓄積されたデータが、現在の学校心臓検診の発展に大きく貢献しています。

—先ほど、検診の実施方法が各自治体によって異なるとお話がありました。

平成7年の学校保健法施行規則(省令)改正で、全員に心電図が義務化されましたが、検査方法は全国的に統一されていません。これは現在の学校心臓検診の問題点の一つだと感じています。

神戸市では先ほどお話しした経緯もあり、基本的に心音図は重要との考えで、一次検診に、小学生は省略4誘導心電図・心音図検査を行い、不整脈に特に注意が必要となる中・高校生は標準12誘導心電図検査を行っています。

しかし、最近では先天性心疾患は小学校入学以前に見られることが多く、心音図検査よりも標準12

誘導心電図のほうが臨床的意義が

大きいという意見もあり、心音図検査をやめる自治体が多くなってきています。これには、小児心臓専門医が少ない上に、心音図を判読できる医師が減ってきているという問題も影響しています。私自身はこれまでの経験からも、器質的な心疾患を見逃さないために、小学生のうち一度は心音図検査をしたほうが良いと思っています。

二次検診は、受診者全員に標準12誘導心電図と胸部X線を行い、一次検診の結果もあわせて、小児循環器の専門医が診察します。その上で、器質的な心疾患が疑われる場合は心臓エコー検査を、不整脈系で所見があれば運動負荷心電図検査を追加しています。

マンパワー等の問題で、初めて異常を指摘された人だけ二次検診で診るという自治体もありますが、神戸市では、過去に異常の指摘や、受診の有無にかかわらず、要二次となったら必ず受診を基本にしています。二次検診の結果から、学校生活管理区分を市全体で同じ基準で管理するという目的もあるか

らです。

しかし、残念なことに受診率は二次検診要受診者の約7割前後で推移しています。不整脈は心電図で初めて指摘される人が多いのでほぼ全員受診されますが、先天性心疾患や川崎病の既往ではすでに診断や治療を受けていることもあり、受診されないこともしばしば経験します。

肥大型心筋症(心臓の筋肉そのものの異常により心臓機能に異常をきたす)や特発性肺動脈性肺高血圧症(心臓から肺に血液を送る肺動脈の圧力が異常に上昇する)などのように、成長するにしながらつて明らかになり、二次検診で初めて診断される心疾患もあります。

神戸市のように手厚く二次検診を実施できている自治体はそう多くありません。要二次検診と言われたら、念のため必ず受診してください。

—心疾患と診断されたら。

親だけでなく、本人にも年齢に応じて、病気を正しく理解させる

ことが大事です。運動はこれくらいまでならやっつけていいとか、生活を制限し過ぎないとか。こういう治療法があるから心配しなくていいとかですね。

何より、子どもたちの生活の質を最大限に高めることがこの検診の目的なので。

—最後に。

学校心臓検診は、早期に医療を必要とする子どもを見つけることで、学校管理下の心臓突然死を著しく減少させました。さらに適切な学校生活管理指導を行い、不要な運動制限などを減らし、子どもたちの学校生活の質を高めることに貢献しています。

疾患の早期発見、早期治療は、子どもも成人も同じです。まずは健診を受診し、要再検査、要受診の指示があれば、受けっぱなしで終わらせずに、さらに詳しく検査して自分のからだの状態をしっかり把握し、健康増進に努めてください。

—ありがとうございました。

身近な寄生虫 ④

アニサキスって知っていますか？

アニサキスという名前を聞いたことがあると思います。

この寄生虫の成虫は、クジラやイルカの胃に住んでいます。成虫が卵を産むと、それらはクジラやイルカの便とともに海中に排せつされるのですが、その後この卵が生き残れるかどうかは、卵あるいは卵から孵化した幼虫が、偶然オキアミに食べられるかどうかにかかっています。もし食べられれば、オキアミの体内で少しだけ発育できます。次に、もしこのオキアミが、イカやサバのような海産魚類(150種類ほどが知られている)に食べられれば、アニサキスはそれらの体内で生き続けます。最終的に、もしこの海産魚類がクジラやイルカに食べられたら、やっとアニサキスは成虫にまで発育できるのです。

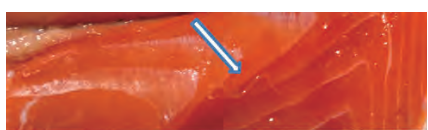
随分「もし」が出てきましたよね。アニサキスや他の多くの寄生虫は、この「もし」の積み重ねで、つまりは食物連鎖を利用して、生きていくのです。

では、人との関わりはどうなっているのでしょうか。人が海産魚類を生で食べた時、人の体内に入ったアニサキスの幼虫(成虫には発育できません)が原因で、激しい腹痛が発生します。これがアニサキス症と呼ばれるもので、日本で発生している食中毒のうち、最もその発生頻度が高いのです(厚生労働省、202

0年)。幼虫の大きさは2センチを少し超えるほど(写真)ですから、海産魚類(大きなサバなら40~50%ぐらいが陽性)を扱っているときに、内臓表面にいる幼虫を肉眼で見つけて大騒ぎになることがあります。よく噛んで食べれば大丈夫だという、ほとんど冗談のような意見もありますが、私の経験からして、相当つまらない(?)効果は期待できないようです。

かつてオランダでは、アニサキス症が多数発生していたそうですが、法律を変えて魚は24時間冷凍することが義務付けられて以降、問題は解決されたと言われています。つまり、海産魚類が冷凍や加熱調理されていけば安心なのですが、なまじ新鮮な魚を生で食べたいという日本人の食習慣が仇になっているわけですね。

(宇賀昭二・神戸女子大学特任教授)



北海道産秋サケ
天然魚ですのでアニサキス等の寄生虫がいる場合がありますが加熱調理していただく問題ありません
保存温度4℃以下

サケの切り身にもアニサキスに関する幼虫(矢く思注意書きがありました。筋肉にいます)は長く伸びて動いてはトグロ(印)、内臓にいる幼虫は多いようになっています。

コラム 折りおり

もう十数年も前になるが、アルツハイマー型の認知症になった身内に付き添い、大病院やクリニックに通ったことがある。大病院から紹介されて、診察を受け薬をもらうことになったクリニックでは、検査もそばで立ち会った。

医師が「今日は何年何月何日ですか」「今居る所は」「100から順に7を引いていって下さい」など、毎回九項目、同じ質問をする。一年二年と年を重ねるうちに、だんだん答えられなくなっていくのを見るのはつらかった。

それが長谷川和夫・聖マリアンナ医大名誉教授が開発した長谷川式スケールという認知症機能検査であった。長谷川さんは、かつて痴呆症と屈辱的に呼ばれていた症状を「認知症」という呼称に変更した際の、厚生省(当時)の委員会での立役者だったことが、新聞を読んで印象に残っている。この価値観を含まないフラットな言葉だったからこそ、共感を得て長谷川式スケールと共に社会に根付いたのだろう。

のちに英国の学者が「パソン・センタード・ケア

認知症と長谷川和夫さん

(その人中心のケア)を提唱した時も、その理念を広めるのに力を尽くした。その人中心のケアという考え方と方法を当時知っていたら、もう少し介護のやり方が変わっていたのではと後悔したものだ。

その長谷川さんが、昨年暮れに92歳で亡くなった。ご本人が、自分は認知症になったと公表してから四年。

功績はいろいろ語られているが、おかしな言い方かもしれないが、認知症になり、それを公表したことが一番大きいのではないか、そう思っている。

偏見はまだ残っているけれど、少なくとも認知症研究の第一人者自身が認知症になったという事実そのものが、だれでも、どんな人でもなりうるということを教えてくれているのだ。

有吉佐和子の『恍惚の人』が、当時ほけ老人とか痴呆症とか言われていた認知症の舅とそれを介護する嫁を主人公に描いて世間にショックを与えてから、ちょうど五十年たった。高齢者の五人に一人が認知症になる時代が間もなくやって来る。

(K)

ひょうご・小さな旅

御影、弓弦羽神社

― 神戸市東灘区御影郡家2丁目 ―

阪急御影駅を降りて、静かな住宅街の道を東に向かって進むと、緑に囲まれた社が見えてくる。立派な本殿の前の拝殿で静かに参拝している人、その西南にある絵馬をかけるところにも人が集ま

っている。女性が
多い。絵馬は時節
柄、受験生の合格
祈願が目につくが、
それよりも多いの
がフィギュアスケ
ートの羽生結弦選
手の活躍を祈願し
たものだった。

羽生選手が自身
と名前が似た神社
の存在を知り、参
拝したことや、オ
リンピックでの活
躍を祈願してたく
さんの絵馬がかけ
られたことなどが報じられ、羽生選
手を応援する参拝者がさらに増えた
という。

境内を歩くと、御影石で作ったサ
ッカーボールが置かれている。ヴィ
ッセル神戸とINAC神戸レオネッ
サの名前がボールの囲いの石に刻ま
れている。毎年、レオネッサは必勝
祈願で神社を訪れる。この神社のシ
ンボルは八咫鳥だが、日本サッカー
協会も八咫鳥をシンボルにしてい



弓弦羽神社境内

る。御影はサッカーと縁が深いまちだ。県内最初のサッカーチームが神社の近くにあった旧御影師範学校（のちに神戸大教育学部に）でつくられたといわれるが、1918（大正7）年に第一回の日本フットボール大会（現在の全国高等学校サッカー選手権大会）に優勝、その後、七連覇した実績がある。後に旧制神戸

一中（現神戸高
校）が四回の優
勝を重ねた。
この辺りから
南にかけて酒造
メーカーが多い。
灘の生一本
で知られる酒ど
ころだ。醸造祈
願祭では、菊正
宗、白鶴、劍菱
など、奉納され
た樽酒が参拝者
にふるまわれる
という。
神社を出て堀
沿いに下ると、

東側に香雪美術館がある。朝日新聞の創立者村山龍平の収蔵品が収蔵展示されている。仏教美術、茶道具など、重要文化財も多いが、あいにく施設の改築工事のため休館中だった。

この周辺には美術館も多い。御影から川沿いに15分ほどで白鶴美術館がある。こちらも冬季休館中だった。あし：弓弦羽神社へは阪急御影駅から東へ4〜5分。

◇『神戸かいわい 歴史を歩く』出版のご案内

本誌で平成7年秋（19号）から令和3年春（121号）まで25年間にわたり、園田学園女子大学名誉教授田辺眞人先生によって計100回連載された「歴史を歩く」を、『神戸かいわい 歴史を歩く』という題名で一冊にまとめ、当協会創立五十周年記念事業の一環として刊行いたします。

「歴史を歩く」は兵庫県内、主に神戸とその周辺地域での歴史的な出来事や伝説など、毎回その場所まで出かけて撮影した写真とともに、1話読み切りで書かれました。25年間の連載中には、NHK大河ドラマで、兵庫・神戸と縁が深い「義経」（平成17年）「平清盛」（平成24年）が放送され、ドラマに合わせた形で、鶴越や福原京など源平にまつわるエピソードも多く含まれています。

今回の書籍化にあたっては、文章にあまり加筆は行わず、写真も多くは当時のものをそのまま使用しています。残念なことに、神戸の兵庫区平野にあった坂本龍馬の寓居跡やメリケンパークにあった

サンタ・マリア号など、取り壊され、今では見られなくなってしまうものも含まれています。田辺先生は歴史を学ぶ上で重要なものが、無自覚に壊されていくことを嘆いておられます。本書を手にとりそれぞれの場所を訪れ、当時の違いを探していただくのも興味深いのではないのでしょうか。

当協会では今回の記念出版に際し、本書を神戸市内の図書館、学校等に寄贈させていただきます。また、4月中旬より県内の書店でも販売を予定しております（1980円）。お問い合わせは、神戸新聞総合出版センター（☎078・362・7140）まで。



表紙イメージ

◆ 会長インタビューが神戸新聞に掲載されました

当協会会長 深谷隆 (1ページ参照) のインタビューが、2022年2月17日付神戸新聞朝刊に掲載されました。

コロナ禍で健康診断の受診控えが懸念される中、予防医学に對する考え方や、コロナ禍の中でも健康で自身の体の状態を把握することの重要性や、自分だけは大丈夫と思いがちな「正常性バイアス」への危機感等を語っています。

当協会では「健康診断時における新型コロナウイルス感染症」等のマニュアルに基づき、健診会場の感染予防対策を講じて、皆さまの受診をお待ちしております。

コロナ禍の健診控えに懸念

兵庫県予防医学協会 創立50年 深谷隆会長に聞く

健康診断やがん検診などを担う「兵庫県予防医学協会」(神戸市灘区)が昨年、創立50年を迎えた。これまでに果たしてきた役割や新型コロナウイルス禍の健診状況などを深谷隆会長(73)に聞いた。受診が減少し、がんの重症化や生活習慣病の増加に懸念を示した。(中部 剛)

「予防医学協会について教えてください。」

「1971(昭和46)年に兵庫予防医学協会として設立。小中学生の奇生虫卵検査、灘神戸生活協同組合(現コープこうべ)の組合員健診に取り組みました。その後、事業の定期健診・特殊健診、住民健診、人間ドックと広がり、2013年4月に公益財団法人に移行しました。」

「神戸市の心臓検診は先進的だったと聞きます。」

「当時の神戸市立中央市民病院循環器センターなどが、1973年度から小学1年生を対象にした心臓検診を始めた。中心になっていいたドクターが馬場國藏先生(小児循環器)。私の恩師でした。神戸方式といわれた心臓検診は、専門医が学校に出向いて直接検診するもので、精度の高い方法でした。91年度まで続き、そのデータがその後の心臓検診にも役立っています。馬場先生は退職後、予防協会に来られました。」

「予防医学の重要性は？」

「予防医学は、時代によってターゲットが変わります。近年ではがん、老齢、生活習慣に起因する疾病などです。神戸の課題は、特定健診の受診率の低さです。さらにコロナで受診控えが目立ち、追い打ちをかけています。なぜ、受診しないのか。『正常性バイアス』といって、危険性は認識していても自分は大丈夫だという意識が強く、危機感が高まれません。コロナをきっかけに特定健診を受けないことが習慣になってしまつうのが怖いですね。」

兵庫県予防医学協会の設立の経緯や、近年の状況を語る深谷隆会長＝神戸市灘区岩屋北町1



ふかや・たかし 1973年、京都大医学部卒業。2002年西神戸医療センター小児科部長、13年に神戸市地域医療振興財団理事長兼西神戸医療センター院長になり、その後、兵庫県予防医学協会健診センター参与に就いた。21年6月から現職。

メタボ増、自分の状態 把握して

「健康診断の受診が減っているのですか。」

「兵庫県のデータによれば、2020年の特定健診受診率は県で30・9%、神戸市は28・5%。神戸は18年と比べると、5・2ポイント下がっています。協会が委託する神戸の市民健診もコロナ前後で20%近く下がっています。感染者数が減ると受診が増えますが、オミクロンで下がりが続いています。」

「がん検診も減っているんですね。」

「そうです。軽症の手術が減っている。早期発見が遅れると、がんが進行し症状が重くなつてから見つかると、がんが増えるのは厄い。がん治療の基本は早期発見、早期治療。知らない間にがんが大きくなつてしまつ。コロナも怖いけど、がんも怖い。」

「生活習慣病も増えている。外に出られず、運動不足になりがち。ストレスから酒が増える人もいる。兵庫県では内臓脂肪症候群と予備群該当者数は18年||27・7%、19年||28・3%、20年||30%と増え続けています。自分の状態をしっかりと把握することが大切です。」

「今後の展望は。」

「いかに健診を受けてもらうか、非常に大きな問題です。企業が向かふのを促すところ、PDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルを用います。健診も同じ。年齢を重ねても動ける体にするためには、まず健診を受けて改善計画を立て、行動を起こして評価、改善する。コロナが落ち着いたら啓発活動を活性化させたい。ネットをつかって幅広く予約できるようにしていきたい。」

神戸新聞社提供

編集後記

今号の表紙はミモザです。1977年に国連総会で「国際女性デー」が3月8日に制定されました。世界中の女性の権利を守り、女性の活動を支援する記念日です。

イタリアではこの日を「女性の日」や「ミモザの日」と呼び、男性から女性へお花を、特にミモザを贈ることが定着しているそうです。日本でもSNSなどで発信され、ミモザを買い求める人も増えてきているとか。ちなみにミモザの花言葉は「感謝」だそうです。

2021年度は、当協会創立50周年のメモリアルイヤーでしたが、新型コロナウイルスの影響で予定していた記念事業のほとんどが中止になってしまいました。51年目に向けて、早くコロナが収束することを願い、これからも予防医学思想の普及啓発に力を尽くしてまいります。

令和四年三月十五日発行
神戸市灘区岩屋北町丁目八番号
〒657-0846
公益財団法人 兵庫県予防医学協会
事務局広報室
☎078-8555-2716
FAX 078-8555-2765
https://hyogo-yobouigaku.or.jp/

表紙絵：高嶋 宏子

チグリスとユーフラテス



たな べ まこと
田辺 眞人

園田学園女子大学名誉教授
兵庫県阪神シニアカレッジ学長



オリент文明の舞台 西のエジプトと東のメソポタミアがその核。赤字は国名、緑字は歴史的地域名。

アでは、それぞれ個性によって、川に名が付けれられたのである。今、メソポタミアを領有する国の名伊拉克は、現地言葉で「河岸・川端」を意味する。二つ

メソポタミアのメソは音楽のmf（中強音）にも通じるギリシア語の μέσος（ローマ字で mesos）「中間、中位」である。ポタミアは ποταμός（同 potamos）「川」の複数形だからメソポタミアは河の間、両河地帯とも訳される。

もちろんその両河がチグリスとユーフラテスである。ユーフラテスは古代ペルシアの言葉で「渡り易い」の意味だという。一方、古代ペルシア語の tigris は「素速い」という意味で、それを語源とするチグリス河は比較的急流だったのだろう。この tigris から動きの素速い獣は tiger（虎）と呼ばれた。虎とチグリス河が同じ語源だということ、阪神ファンは驚くかも知れない。



ブリューゲル作バベルの塔 『旧約聖書』に基づいてルネサンス時代の画家が描いた。

の河をぬきには考えられない風土なのである。エジプトにはピラミッドのように石材が豊富だが、メソポタミアの主な建材は日干し煉瓦だった。河原の粘土を木枠で直方体に成型し、天日で乾燥させた建材である。それを積み重ねて壮大な建造物が作られた。巨大な聖塔は、ユダヤ人にバベルの塔のイメージを与え、塔の階段状のテラスに植栽した光景から、古代ギリシア人はそれを空中庭園と呼んで世界の七不思議に数えた。エジプトのナイルは外来河川で流域に大雨は降らず、洪水といっても半年かけた穏やかな増水で、増水時に人々は高台の家に移って

半年後の減水を待つ。水が引くと人々は低地の家にもどる。水が引いた農地には、上流から水が運んできた腐葉土が積もり、農作業が再開される。エジプトの石造りの家は長年これをくり返しても、崩れることがない。

一方、メソポタミアはトルコ東部の高原地帯を水源とする二本の大河を持ち、その水源地帯には時として大雨が降る。急に増水した二本の大河は流域に大洪水を引き起こすことがある。建物が焼成していない日干し煉瓦でできているから、久しく水没すると、水が引いた後には融解した煉瓦の粘土の小山や固まりしか残らない。世界が壊滅したようなこの破滅的水害の記憶が、『旧約聖書』の描くノアの方舟の洪水の原景なのである。



都市国家ウルのジググラト 4000年前の巨大建築。